

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
生命科学2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験			
鍼灸学科・昼間部	1年	後期	安納 弘道	○			
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
基礎分野	科学的思考の基礎人間と生活			座学	2	20	
科目概要							
科学的思考力を備えた鍼灸師となるために、生命科学を学び、鍼灸師にとって必要な循環・呼吸などの生命現象に関する知識を身に付ける。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学ぶことで達成されるべき目標	循環器系の構造と機能を学習することにより、正常な体内での物質の運搬やエネルギーの産生・生体防御のメカニズムについて理解し、さまざまな病態を見出すための基礎思考を身に付ける。循環器系・呼吸器系に関し専門用語を用い、表現説明することができる。						
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、典型的な指標(合格基準)	1、正常なヒトの循環系と呼吸器系の成り立ちと機能について解剖学用語・生理学用語を用いて説明できる。2、いくつかのクリティカルシンキングについて各個人で考察できる。						
履修に必要な予備知識や技能							
生物の呼吸や血液の流れが起こる仕組みについて考えてみる。							
教科書・参考書							
解剖学 第2版 公益社団法人東洋療法学校協会 医歯薬出版株式会社			生理学 第3版 公益社団法人東洋療法学校協会 医歯薬出版株式会社				
受講上の注意							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	80	20					100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	①体循環・肺循環について説明できる。②体循環・肺循環におけるO ₂ 、CO ₂ 分布について説明できる。③血管の一般的構造について図説できる。④内皮細胞について説明できる。			解剖学36-37			
第2回	①動脈の構造について図説できる。②血管の生理学的分類について説明できる。③静脈の構造について図説できる。④吻合の形態的特徴について図説できる。			解剖学37-38			
第3回	①門脈の経路と機能について説明できる。②毛細血管の構造と機能について説明できる。③毛細血管を形態的特徴から分類し、それらがどこに局在するか例を挙げて説明できる。			解剖学39			
第4回	①心臓の位置について解剖学的観点から説明できる。②心臓を包む膜について説明できる。③心臓の壁を作る細胞について説明できる。④心臓の区画と血液の流れについて図説できる。			解剖学40-43			
第5回	①心臓に分布する血管の走行と血液供給について説明できる。②心臓の拍動の始まりと伝導について説明できる。③心周期とは何か説明できる。			解剖学42-43 生理学31-35			
第6回	①心電図の意味と診断的価値について説明できる。②血圧と血流を調節に関与する種々の因子について説明できる。			生理学41-46			
第7回	①大動脈の基本部と大動脈各部から起始する動脈の位置について説明できる。②大動脈から分枝する動脈と分布領域について説明できる。③総腸骨動脈の2枝と分布領域について説明できる。			解剖学44-48			
第8回	①静脈血を心臓に戻す体循環の静脈について説明できる。②頭部からの静脈血を運送する静脈について説明できる。③上肢・下肢の静脈血を運送する主要静脈を説明できる。			解剖学48-51			
第9回	①胎児循環における動脈と静脈の分布について説明できる。②胎盤の構造について図説できる。③胎児と出生時における血液循環の変化について説明できる。			解剖学52-53			
第10回	①種々の内臓循環にちて説明できる。②リンパ系の構成と機能について説明できる。③リンパ系の組織学的構造とリンパ循環について図説できる。			解剖学54-60			
第11回	①呼吸器系の構成について説明できる。②気道について説明できる。③鼻・鼻腔・副鼻腔の構造について説明できる。④鼻の嗅覚器としての構造について説明できる。			解剖学61-64			
第12回	①喉頭の構造と呼吸・発声でどのように機能するか説明できる。②気管の組織学的構築について図説できる。③気管から肺胞までの経路と組織学的変遷について説明できる。			解剖学64-66			
第13回	①肺の解剖学的特徴について説明できる。②肺葉・肺区画について説明できる。③肺胞の組織学的構造と肺胞でのガス交換について説明できる。			解剖学66-67			
第14回	①吸息・呼息が行われる機構について説明できる。②肺容量分画と肺容量について図説できる。③肺胞と血液間・血液と細胞間でのガス交換について説明できる。			生理学56-59			
第15回	①O ₂ ・CO ₂ が運搬される機構について説明できる。②呼吸調節における神経系の関与について説明できる。③呼吸数と呼吸の深さをあえる因子について説明できる。			生理学60-61			
第16回	①呼吸器系に運動が与える影響について説明できる。②呼吸器系に加齢が与える影響について説明できる。③呼吸器系の振り返りテスト			生理学60-61			
第17回	クリティカルシンキング(呼吸器に関わるいくつかの事例について今までの学習から症例を解いてみる。)						
第18回	①脈管系の組織学的構造のスケッチ。②呼吸器系の組織学的スケッチ						
第19回	定期試験						
第20回	定期試験解答説明						
実務経験と本講義との関連について							
久留米大学医学部解剖学第2講座に6年間携わった実績を踏まえ、呼吸循環器系の内臓学・組織学について講義する。							
メールアドレス							
annoh-t@nihonisen.ac.jp							